

平成31年度 唐津市立浜玉中学校 学校評価計画

1 学校教育目標 「豊かな心を育み、未来を切り拓こうとする生徒の育成」 ～力を合わせ ともに伸びる～ 浜玉中三訓「時間 掃除 あいさつ」 ～時を守り 場を清め 礼を尽くす～	2 本年度の重点目標 ①学力の定着と向上 ②心の教育の推進と道徳教育の充実 ③キャリア教育の推進 ④地域とともにある学校づくり
---	--

3 目標・評価

①学力の定着と向上

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●学力向上	・学びあいの活用による基礎・基本の定着と確かな学力の向上	・生徒同士で互いの考えを深めて高め合える授業を行い、昨年度より授業がわかる思う生徒を70%以上にする。	・各授業で、生徒一人一人が考える時間や発表・検討し合える時間を設定する。 ・4人組での少人数活動により発言しやすい環境を作り、生徒が安心して学べる場を作る。
学校運営	○教職員の資質向上	・ICT活用による授業力の向上	・授業におけるICTの利活用を通して、生徒の学習意欲を喚起し、ICTが役に立つという生徒・保護者の割合が70%以上になる。	・教職員全員がICT機器を有効に活用できるよう、ICT活用に関する研修を計画的に行う。

②心の教育の推進と道徳教育の充実

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●心の教育	・豊かな心を育てる道徳教育の推進	・生徒が自己肯定感を高め、豊かな人間関係を育み、自らの人生や未来を拓く力を育む。 ・小中連携で授業の工夫や改善の共通理解と実践を図る。	・全教育活動を通して育まれる豊かな心や道徳性を、道徳の時間に、補充・深化・統合する。 ・「いきいき学ぶからつ子」育成事業において、道徳教育の部会をもち、計画的な小中連携を図る。
教育活動	●いじめ問題への対応	・いじめの未然防止、早期発見・早期対応	・いじめの未然防止のために、生徒の状況を細かく把握する。 ・いじめの早期発見・早期対応を行い、生徒が安心して学校生活を過ごすことができるように努める。	・QUテスト(年2回)、生活アンケート(月1回)、教育相談週間(年2回)を実施し状況把握に努める。 ・いじめが発覚した場合は、早急に対策委員会を立ち上げ、保護者・関係機関と連携しながら解決を図る。
教育活動	○生徒指導	・浜玉中三訓の徹底	・自らあいさつができる生徒の割合を70%以上にする。	・生徒会活動で、生徒自ら啓発を行わること、意識の高揚を図る。 ・生徒会を主体に毎朝あいさつ運動に取り組む。

③キャリア教育の推進

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●志を高める教育	・キャリア教育の推進と情報提供の充実	・夢や目標をもち、その実現に向けて努力している生徒の割合を70%以上にする。 ・生徒の望ましい進路実現のため、適切な進路に関する情報を提供する。	・将来の夢や今後の目標を明確にし、実現に向けて努力する決意をする立式を行う。 ・ていねいな進路相談を行う。 ・適切な時期に適切な情報提供を行う。
教育活動	○特別支援教育	・個々の生徒に応じたきめ細かい対応	・全職員が障害を持つ生徒への理解を深め、適切な支援ができるように努める。	・特別支援学級の学級経営案を作成し、支援について共通理解、共通実践を行い、支援体制を強化する。 ・特別支援教育コーディネーターを中心に、支援会議を7月・9月に行う。
教育活動	●健康・体づくり	・望ましい食習慣と自己管理能力の充実	・全校生徒の朝食喫食率を90%以上にする。また、給食の残食をなくす。	・生活アンケートを実施し、朝食喫食率を把握し、保護者へ向けとも情報を提供し、意識高揚と改善を図る。 ・生徒会保健部と連携を図り、残食チェックや給食指導の徹底を行う。

④地域とともにある学校づくり

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	○小中・地域連携	・小中連携と地域連携の充実と開かれた学校づくり	・授業参観の参加率を60%以上にする。 ・地域の人材を活かした、サークル活動や各種ボランティアを通して、小・中学校と地域の連携を通して、学校が地域の発展に役立っていると思う生徒・保護者が70%以上になる。	・保護者との連絡を密にし、各種通信や地域への広報誌(浜玉っ子)等を通して啓発を図り、子どもへの理解・生活の改善を進める。 ・3つの小学校及び地域の講師と連携を密にし、各部会の運営を効果的に行う。

本年度の重点目標に含まれない共通評価項目(あれば記入)

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	・学校事務共同実施	・学校業務を改善し、教員が子どもと向き合う時間を確保できるように工夫する。	・学校文書処理の標準化・効率化を行う。

●は共通評価項目のうち必須項目、○は独自評価項目